

改題

# 土楽たより

どうらく

Kogure 農場 6月号 (NO50)

2014年6月10日 (火) 発行 (毎月10日)

**【農暦】5日播種した野菜の無事の発芽を待っている。**

○今日9日、日射しは時々あるものも直ぐにも雨を降らしそうな雨雲に空の大半が覆われている。予報も雨である。5日夕からの雨が強弱をつけながら降り続けている。関東の多くの地域に大雨警報や洪水注意報が出されていた。雨が本格的に降り始める前の5日に、Kさんの手伝いを得て、播種の機会を逸していたサラダ菜、空心菜、トウモロコシ、人参の種まきをした。蒔き時を勘違いしていたスーパーフード言われている「キヌア (注\*)」も蒔いた。畑は雨が少なく耕すと土煙が出る程に乾燥していたのである。雨雲が垂れこめ、予報も雨である。絶好の種まき時だと思った。だが、雨量が余りにも多い。流されたり腐ったりしないかと心配になる。

○5月後半からほとんど雨がなかった。トマトなど遅れて定植した夏野菜の成育を心配していたが、今度は大雨である。1日で6月の平均降雨量の1ヶ月分が降った所があると云う。6月の北海道で30℃を超える気温を記録している。毎回のように異常気象の事を書いてしまうが、極端で激しい気象が多い。6月の気候も落ち着きそうもない。

○地球温暖化と異常気象について学者の話をニュース等で見聞きするが、盲人と象のたとえ話の例に近い話になる事がある。CO2は温暖化に寄与？しない等は当にそうだ。リオ宣言、京都議定書と地球温暖化対策の大きな方向性があるのである。気温測定条件だけでもデータが大きく変ると聞く、科学技術の知見レベルで全体を把握する形で整理して貰いたいものである。日常化している異常気象に恐怖心を抱いている人は多いと思うのである。

○野菜作りはチョットした気候の変化に対応出来なければならない。篤農家の異常気象の被害のニュースには心が痛む。日照りだけではないと思うが定植した苗を枯らしてしまっただけで落胆するのである。雨空を見上げながら5日に播種した野菜の発芽が気になる。不在にする事が多く努力も足らない農作業になっているが、変化の激しい気候には翻弄されるばかりである。



＜淡いブルーの紫陽花＞淡いブルーは好みの色。  
木立に囲まれた公民館での盆栽展。カレーライス  
の接待まで受けた。7日撮影

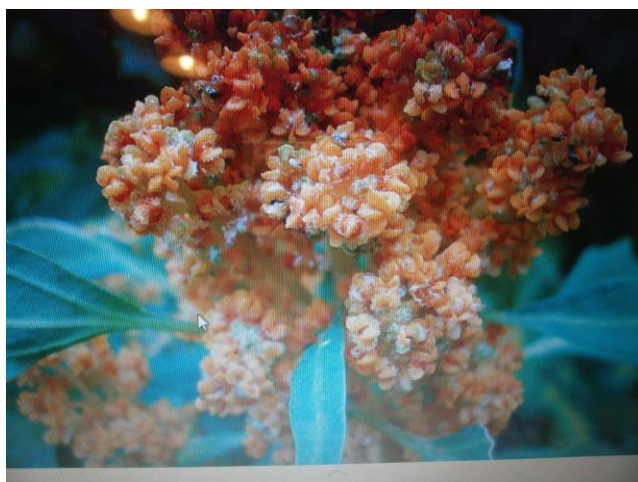
**\*注 キヌア**；優れたアミノ酸バランスで、1990年にはアメリカの航空宇宙局が理想的な宇宙食の素材として「21世紀の主要食」と評価している。

### 【楽農】定植と播種

<ハウス>；トマト、シシトウ、トウガラシの定植。

<畑 A>；サラダ菜、空心菜、トウモロコシ、人参、二十日大根、キヌアの播種。  
草払い機で除草。

<畑 B>；トラクターで耕起（大豆など播種の準備）、スイカ、トマトを数本定植



<キヌア>アンチエイジングの食材。実が小さくて収穫が大変と。秋が楽しみ？。ネットの写真から。

### 【楽市】イベント交流・直売など

○その他；共生の会（22日）、フリーマーケットに出店（31日）、県央・明日の地域づくり委員会（OB）の部会郊外研修会（\*注1）（3日）、ピッコロファームの夏季例会（\*注2）（5-6日）吟士権県西大会（8日）などに参加。

**\*注1**；笠間の郊外研修の一環でKogure 農従へ立ち寄られた。

**\*注2**；カボチャ「南部一郎」（収穫時でも糖度12）の話題などで深夜までの親睦交流となった。KNさんから「南部一郎」の種と苗を8日に頂いた（多謝）。

### 【つぶやき=Tweet】工業的教育でなく有機的な農業的教育に！

○8日夕方、笠間から柏に戻り疲れていたのかプリン体OFFの発泡酒で寝込んでしまった。いつものパターンでもあるが、深夜に目覚めテレビを付けると、Eテレで教育について講演の番組をやっていた。25歳以上は、腕時計をしている人は手を挙げてと聴衆に話しかけ、ほとんどの人が手を挙げるのを確認すると、10代は腕時計をほとんどしていない。腕時計の事を尋ねると単機能機器と答えたと云う。育った時代環境で価値観も常識も変わる。個々人の感性も違うが、デジタル技術の社会に生まれ育った10代の世代は世代としての感性も違うと言いたかった様である。今のアメリカで“行われているのは工業的な教育であり、ルールや画一性が大事だとされている。これをもっと有機的な農業的教育にしないといけないといい。土壌作りをしなければならないと言っていた。”農業的“の文言が気になり最後まで見てしまった。たが、見始めたのが番組の終わりの7-8分の所からだったので直ぐ終わってしまった。どんな番組だったのか判らなかったが、後で確認したら、英国の教育学者のケン・ロビンソンの「TED（注\*）トーク」の講座で“学校を変えることも重要ですが、学校以外の学びをどうやって活性化するか”などのアメリカの教育を

如何に変えて行くかの提言の講演であった。

○私も入居させて頂いたクラインガルデン（滞在型市民農園）は、ドイツの精神科医がはじめた都市労働者のリハビリの施設の名称から来ているもので、農作業に意味がある。農作業の持つ機能は生命を支えるにあるが、それ故に人を育てる（教育）に通じる多くのものがあるのは確かである。農作業の後の心持ちの良い疲労感と爽快な気分は何度も実感している。農業労働になっては駄目だが、人間性復活に繋がる様な“有機的な農業的教育”と云う概念には大いに肯首出来る。

○先号で渡辺淳一の「事実婚」を読んで見たいと書いたが、店頭にはない本屋が多くやっと手に入れた。本の題名は事実婚 新しい愛の形とあった。これぞ事実婚の小見出しの所に“互いの家はもちろん、両親もほとんど介入せず、当事者同士だけの生活を楽しみ、子供を育てている。これで、いわゆる法的な婚姻関係を結ばなければ、完全な事実婚である”“今や都市部では、当事者や周りの者たちが好むと好まざるとにかかわらず、事実婚に近い形態の結婚が急速かつ確実に増えつつある”とあった。事実婚法はフランスでは1999年バックス法（貞操義務なし）が、スウェーデンでは1987年サンボ法（2009年の改正で異性間以外にも）がある。日本でも法整備が問われるのだと思う。



＜ゴミを考える会主催のフリーマーケット＞陽射しが厳しい中で、トマトやシシトウの苗や小豆の出店をした。31日撮影

○「事実婚」は愛の総量を増やす「政策提言」で書かれたと云うが、瀬戸内寂聴はいくつになってもトキメキは大事とよく云う。トキメキ、感動、感謝は大事にしたいものである。利得ばかり求める世相にあっては中々得られないものである。“愛の総量”が少ないと言われている日本である。愛の総量は増えて欲しいものである。

**\*注 TED** は、価値のあるアイデアを世に広めることを目的とするアメリカの非営利団体。1984年の設立当初は、「技術」「エンターテインメント」「デザイン」の3つの分野からスピーカーを集めて会議を行っていた。その後、あらゆる分野における最先端の人々が集まる場へと発展。TEDトークと呼ばれるプレゼンテーションの動画を世界に無料配信して注目を集めている。

【後記】水田は緑の絨毯、いよいよ夏本番。笠間に、kogure農場にお越し下さい。  
【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者；Kogure農場・小暮虎雄  
住所；笠間市本戸4201-10  
携帯電話；090-9333-4135  
メール；[torao-k@nifty.ne.jp](mailto:torao-k@nifty.ne.jp)  
HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>